

広島市植物公園 見どころ案内

2024年9月1日
通巻第633号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (7/20~9/1)
夏のオープンスペース 植物であそぼう!
- ◇展示温室
変化朝顔展(8/24~9/1)
薬用植物展(9/7~10/6)
- ◇大温室前、熱帯スイレン温室
盛夏のスイレン展 (7/13~9/23)

オミナエシ (オミナエシ科)

オミナエシは「秋の七草」のひとつで、里山の野草園のほかに、ロックガーデンや花の進化園でも見頃を迎えています。

スタペリア おうさいかく 王犀角 (ガガイモ科)

毛の生えた星形の花を咲かせています。花は悪臭を放ちハエをおびき寄せることで受粉します。

サガリバナ (サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯のマングローブ植物。花は夜に咲き、翌朝には落花します。曇天時には午前中まで花が残っていることも。

イワタバコの仲間

セントポーリアやストレプトカーパスなどを鉢で展示しています。省スペースで多彩な花を楽しめるので、室内園芸におすすめの植物です。

タイタンビカス (アオイ科)

北アメリカ原産のモミジアオイとアメリカフヨウの交配種です。猛暑の中でも、大輪の花を次々と咲かせます。

キセワタ (シソ科)

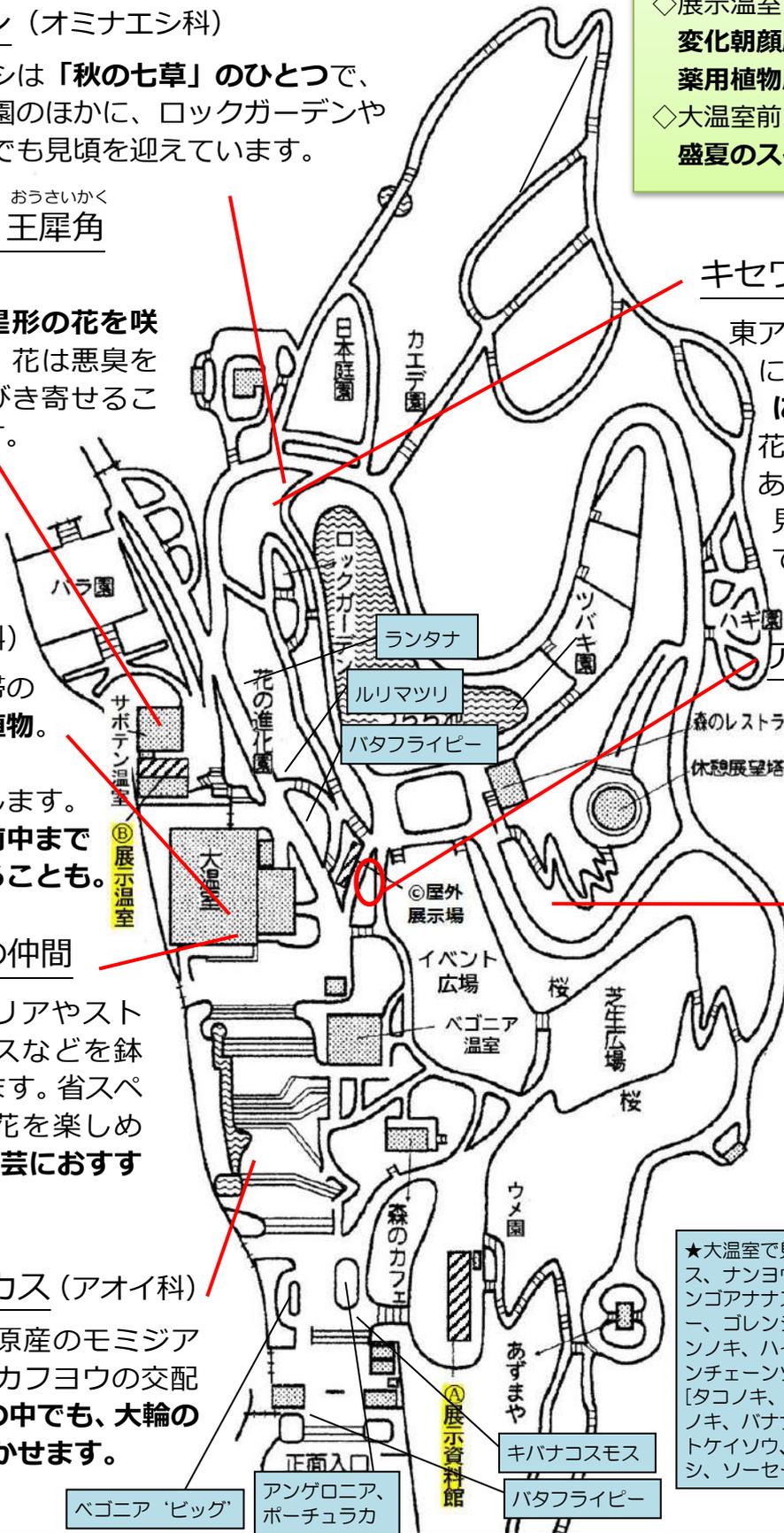
東アジアの山地や丘陵地の草地に生育していますが、全国的に生育地が減少しています。花の上部に白い毛が多くあり、それを花に着せる綿に見立てたのが和名の由来です。

アベリア (スイカズラ科)

和名はハナゾノツクバネウツギ。初夏から秋にかけて花がよく咲くことから、街路樹や生垣にしばしば用いられます。

サルスベリ (ミソハギ科)

つるりとした樹皮を持つため、サルも滑り落ちるといのが名前の由来。赤、白、ピンクなど様多数の園芸品種が存在します。



★大温室で見頃の花 アンズリウム、ヒメノカリス、ナンヨウザクラ、オウコチョウ、ラン各種、サンゴアナナス、アセロラ、カカオ、トーチジンジャー、コレンシ、ヘリコニア、マツリカ、イランイランノキ、ハイビスカス、アリアケカズラ、ゴールデンチェンツリー
[タコノキ、ビョウタコノキ、ベニノキ、コーヒーノキ、バナナ各種、チューインガムノキ、オオミノトケイソウ、パキラ、クロツグ、パパイヤ、ココヤシ、ソーセージノキ (以上は実)]

❖ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❖
❖ 9/7、9/24、10/5 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します